



第30号

令和3年9月1日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 長月に入り朝夕はしのぎやすくなって参りました。皆様には変わらずご活躍のことと存じます。開業医の先生方はじめ関係機関の皆さまには、患者さんのご紹介など相互連携にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、今年は彼岸を待たずして秋の気配が感じられます。しかしながらひと雨ごとに秋が近づくような情緒はなく、連日の大雨に災害の危険を感じることもあります。新型コロナウイルスの猛威は留まることなく県下にも8月27日に3回目の緊急事態宣言が発令されました。ここ飛騨地方もこれまでと異なる勢いで第5波が襲来しました。引き続き、ワクチン接種を進めながら、市民のみなさんには手洗いとうがいの励行、そして生活圏を共にしない方との接触を出来る限り避けて頂くよう強くお願いしていきたいと思います。

関係者の皆様のお骨折りに心より感謝申し上げ、一刻も早く終息する日が訪れるよう難局を乗り切ってまいりたいと思います。実り多き秋となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

敬具
病院長 清島 満

【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

退任・就任のお知らせ

・・・P2

先生ってこんな人

外科 清水 里香医師

・・・P3

○外来担当医表 9月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○地域連携係よりお知らせ

○令和3年度飛騨地域緩和ケア研修会のご案内



◆◆退職・就任のお知らせ◆◆

この度、6月末日をもって副院長（兼：第一外科部長・救命救急センター長・教育
研修推進室長）白子隆志医師が退職いたしました。30年の永きにわたり勤めていた
だき これもひとえに皆様方のご指導とご厚情の賜物と深く感謝いたします。

なお、9月より整形外科部長・前田雅人医師が副院長に就任いたします。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻賜りますよう よろしくお願い申し上げます。

■その他の退職医師（9月末日）

診療科	氏名	
耳鼻咽喉科	堀 倫也	H25 年卒
外 科	藤林 勢世	H29 年卒
内科（内分泌）	樋口 翔	H30 年卒
内科（呼吸器）	都島 悠佑	H30 年卒
歯科口腔外科	高橋 良昌	研修医

※10月から就任する医師については次号にてお知らせいたします。





◇◇『先生ってこんな人』シリーズ②◇◇

日ごろ紹介状を通じてお世話になっている開業医の先生と「顔の見える関係」を築き、安心して患者さんをご紹介いただけるようスタートした『先生ってこんな人』シリーズ。第20回目は、外科の清水里香先生です。

外科

しみす りか
清水 里香 医師
(H31 年卒)



先生は高山ご出身と伺っています。

そうですね。
高山市丹生川町で生まれ育ち、
高校は斐太高校に通いました。

先生は3年目になりますが、
当院での研修を振り返って
いかがですか？

岐阜大学医学部附属病院と協力病院の2施設で研修する「たすきがけ」コースで研修を行い、1年1ヵ月高山日赤でお世話になりました。

2年目は岐阜大学で研修を行いましたが、当院で研修したことを伝えると「じゃ、出来るね」と言われ、任せて頂く業務の幅が違ったように感じます。

どちらかというと高山日赤は1年目から実践を積むイメージが定着していて、私も鍛えて頂きました。



高山での学生時代はどんな感じでしたか？

幼い頃からピアノを習い中学ではブラスバンド部に入部し、中学はホルンを担当し3年生時は部長を務めて楽しい時間でした。中学3年生のときに観た斐太高校の吹奏楽部定期演奏会に感動し「私もこんな風にみんなと演奏したい」と憧れを抱いて、斐太高校でも吹奏楽部に入部しトロンボーンを担当。高校では頻繁にテストがあるのですが、成績が悪いと放課後気持ちよく部活に行けないので勉強に励んでいました。

部活動中心のあっという間の3年間でしたね。

部活動と勉強の両立は どうされていたのですか？

今も昔もスケジュールは詰め込みたいタイプで(笑)、登校して授業が終わると部活に行って、帰りはコンビニでお腹を満たして塾に行き、自習室で仮眠してから勉強しはじめ22時まで、テスト前は24時ぐらいまで勉強して帰宅する生活でした。

3年生の夏、最後のコンクールに出場するか悩んだ末、出場しないことを決め進学に向けて勉強に集中しました。コンクールを観客席から観たときは感慨深かったです。



外科

しみず りか
清水 里香 医師

(H31 年卒)

医師を目指したきっかけは？

今思えば周期性発熱だったのではないかと思います。幼少期よく熱発し頻繁に病院にかかっていました。その影響か小学校高学年ぐらいになると「医者になったら家族のみんなが喜ぶかな」と思うようになり、医師を目指すようになりました。

中高生になると目標が明確になってきて、職場見学は診療所の在宅医療に随行させていただきましたし、高校では迷わず理系に進みました。



大学での学生生活はいかがでしたか？

大学ではジャズ研、軽音楽部に所属してさらに楽しさが広がった感じです。夕方授業が終わると部活に行き、部活のない日は塾のアルバイトをする日々でした。

テスト前もクラブ活動は休むことなく、徹夜してテストに挑むときもありましたが、そんな無茶も楽しい思い出です(笑)。



いつ頃、外科医になろうと？

当初は小児科医になろうと思っていましたが、大学2年生のときに受けた検体解剖の授業が興味深かったことや、初めての実習でお世話になった外科にあたたかく迎えて下さり、その後も呼吸器外科の岩田教授にはセミナーにお連れいただくなどお世話になるうちに徐々に気持ちが外科に傾いていったように思います。

外科の魅力に開眼したというより、外科領域の勉強や医局の環境などすべてを通して嫌になる要素がなかったことが今に至っているようで、自然な流れでの選択でした。



これまで印象的な出来事がありますか？

研修医のときに、内科・緩和医療専門医の今井奨先生ご指導のもと、初診から入院、そしてお亡くなりになった患者さんに携わったことがありました。

患者さんにとって医師から提案される治療方法や治療のタイミングは、その後の人生を大きく左右し生き方そのものに影響します。その一連の経験が、自分が想像していた医師像とリンクしたことを思い出します。



将来はどんな医師を目指していますか？

先日は医師を目指す高校生への特別授業で市内の高校へ行ってきましたが、その際同僚の先生方から「大門未知子（のような恰好）で行かなきゃ」と言われました。でも、イメージ真逆ですよ（笑）

教授に叱られるかもしれませんが、私自身は将来出世しキャリアを積むイメージからは遠く、医師不足で困っている地域等で活躍できたら嬉しいです、地方でも専門的な医療が受けられるようになっていく一助になればと思います。

現在は消化器領域を中心に勉強させていただいています。現時点では外科専門医取得後、呼吸器外科を専門分野としたいと考えており、気胸の手術も執刀させていただいています。



外科

しみす りか
清水 里香 医師

（H31 年卒）

休日の過ごし方は？

小さな頃も山に親しんでいたのですが、最近ようやく登山の魅力に気づきはじめました。今はコロナ禍で難しいですが、登山計画は親友と休みを合わせることが大変なので天気がどちらに転んでもいいように素敵な宿に泊まるのも楽しみの一つにしています。

幼少期は家族で行く北海道への登山旅行も、「わざわざ山に旅行しなくても…」と思っていましたが、気づけば山好きの父と同じく、兄も私も登山が楽しくなっていました。

コロナが落ち着いたら飛騨山脈と長野県に跨る唐松岳に行けたら嬉しいです。



開業医の先生方へメッセージ

日頃より患者さんを通じて紹介状のやり取りなどお世話になり、誠にありがとうございます。患者さんの理解が深く当院では上級医や同僚の先生方にも相談しやすく、コメディカルも協力的で大変ありがたい環境です。今後も感謝することを忘れず、環境に甘んじることなく研鑽を積んでいきたいと思います。

引き続き、開業医の先生方にも患者さんのご紹介等でお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

